



地方と東京圏の大学生対流促進事業

「うどん県で楽しいをシゴトにする」

実施報告





「うどん県で楽しいをシゴトにする」

目的：県内の自治体や地域地場で躍進する魅力的な企業や団体等に一週間程度滞在し、行政や団体、また地域企業で働くことを体験する。地域ならではの魅力ある仕事に触れ、また地域課題や企業の現状・課題等について学ぶことで、将来を考え、働くことの意義や指針となることを目的とする。

表 インターンシップ先および参加学生数

	芝浦工大	津田塾大	東京農大	香川大	計
ヤマロク醤油	1名	1名	2名	—	4名
ヤマヒサ	—	1名	1名	1名	3名
東洋オリーブ	1名	2名	1名	—	4名
宝食品	1名	—	2名	—	3名
土庄町、小豆島町、トティエ	—	2名	—	1名	3名
高松市	—	1名	2名	1名	4名
セカンドハンド、オイスカ、JICA四国	—	1名	1名	—	2名
クレメント高松	—	2名	2名	1名	5名
JR四国	—	2名	1名	—	3名
香川大学	—	—	—	5名	5名
計	3名	12名	12名	9名	36名



日程概要

2月16日（日） 9:00 9:00 10:00 16:00	香川大到着 全体のガイダンス、県内企業紹介 こんぴらさん視察 解散。各宿舎へ移動。	 全体ガイダンス
2月17日（月） ～ 2月20日（木）	各自治体・各企業にてインターンシップ体験	
2月21日（金） 午前 15:45 17:00 20:00	各インターン先にてふり返し報告作成 香川大学に集合 ふり返し発表会 お別れ会 夜行便にて帰路	 お別れ会  ふり返し発表会

ヤマロク醤油

紹介

- ・小豆島の醤油蔵
- ・伝統的な木桶仕込みでの醤油作り
- ・木桶職人復活プロジェクトにより木桶作りの技術習得を実施

実習スケジュール

2/17 (月)	木桶作り
2/18 (火)	・たがの芯作成、はめ込み ・底板の作成、設置
2/19 (水)	・たがの芯入れ、たがの焼き付け
2/20 (木)	・木桶のやすり掛け



学生の感想

- ・地域の課題を解決するためには、ふるさと納税といった上部の政府の政策だけではなく、地域の企業も様々な工夫を凝らしているということが分かった。
- ・自分は今まで地域の課題は都市計画だけでなんとかなると思っていたが、様々な企業もかかわってくる課題だと感じた。
- ・自分の考えだけではなく、他の人の色々な意見を聞いたことで新たな視点から物事を考え、新たな考えを生み出すことができました。

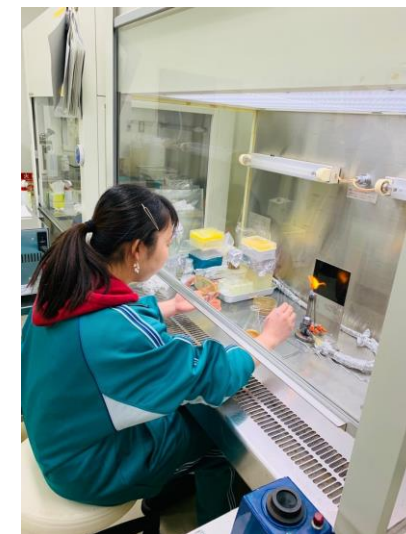
ヤマヒサ

紹介

- ・小豆島の醤油蔵
- ・伝統的な製法の木桶を用いて醤油製造
- ・醤油の他にもオリーブ農園を所有しており、オリーブオイル、オリーブ茶の製造、販売を行う。

実習スケジュール

2/17（月）	醤油とオリーブのレクチャー
2/18（火）	醤油作業体験（仕込み）醤の郷視察
2/19（水）	オリーブ畑、搾油所視察、 オリーブ剪定、ハマチ用飼料製造体験
2/20（木）	醤油作業体験



学生の感想

- ・醤油の作り方では化学や原科学で習ったことが多く実感できた。
- ・ゲノム編集に対する現場の意見が興味深かった。
- ・移住者の方にも話を伺えたことで、小豆島の魅力をより深く知ることが出来た。
- ・第一、二次産業のかかえる問題も知ることが出来た。
- ・自分から初対面の人に話しかけることが今まであまりできていなかったが、5泊6日の中でコミュニケーション力が成長したと思う。

東洋オリーブ

紹介

- ・小豆島産オリーブにこだわり手摘みで収穫した商品をメインに、小豆島内の自社工場で加工・販売を行う。
- ・オリーブ栽培面積（25.5ha）は日本一。

実習スケジュール

2/17（月）	オリーブ工場見学、農園実習（剪定、整地、土づくり）
2/18（火）	オリーブ関連施設視察
2/19（水）	広報実習、オリーブ堆肥プロモーション戦略立案
2/20（木）	広報実習、ハートのオリーブの木プロモーション戦略立案



学生の感想

- ・東洋オリーブのプログラムに参加した仲間とともに課題を分析し、課題解決に向けて試行錯誤しながら取り組むことを通じて、発信力や傾聴力、主体性を持つことができたと思います。
- ・将来へのイメージが少し具体的になった点で成長できたと思います。
- ・課題に対する対応を、あらゆる視点からとらえる力を得られた。

宝食品

紹介

- ・小豆島の佃煮の製造販売
- ・新商品開発に力を入れており、最近ではちりめん山椒が宇宙日本食としてJAXAに選定
- ・国際基準である ISO22000（食品安全規格）を2017年に取得、現在はFSSC22000取得に向けて取り組む。

実習スケジュール

2/17（月）	レクチャー、工場見学
2/18（火）	品質管理、分析作業体験
2/19（水）	商品開発体験 ・商品コンセプト、試作案作成
2/20（木）	商品開発体験 ・原材料の準備、試作、試食会



学生の感想

- ・品質管理を徹底することの大変さを感じた。
- ・商品開発での、食材や調味料の種類・分量の調整、コスト削減の中で消費者の要望に応える商品を生み出すことの難しさを感じた。
- ・企業で働く人々の動きや、普段目にすることのできない裏側も見ることができた。

土庄町、小豆島町、NPO法人トティエ

紹介

- ・トティエは、小豆島で移住支援や空き家活用に取り組むNPO法人。
- ・今回、小豆島自治体と合同で、小豆島における移住・定住促進の仕事体験を実施した。

実習スケジュール

2/17 (月)	ガイダンス、調査内容検討
2/18 (火)	移住相談立ち合い 移住者インタビュー、自治会ヒアリング
2/19 (水)	町職員・地元住民インタビュー 移住体験施設見学
2/20 (木)	調査内容まとめ、資料作成



学生の感想

- ・今回のインタビューでは小豆島の魅力というプラスの面だけでなく、問題点というマイナスの面も知ることができた。
- ・移住促進するために、どう組み合わせるのは難しかったが、多角的に見ることの大切さはとても学べたと思う。
- ・多様な意見や考えは小さな自治体の難しい立場を理解するのに役立ち、将来私自身が担うことになる仕事の内容を身をもって感じることもできた。



高松市

紹介

- ・「高松市のふるさと納税制度PRを考える」をテーマに仕事体験を実施
- ・市長や若手職員との意見交換会を通して、地方公務員を目指した理由や実際の公務に携わった感想を話し合い、仕事観を醸成する

実習スケジュール

2/17（月）	高松市内視察（屋島、玉藻公園、牟礼道の駅、仏生山）
2/18（火）	ふるさと納税のインプットトーク 返礼品調査（AJI PROJECT視察）
2/19（水）	返礼品調査（塩江ふじかわ牧場、道の駅しおのえ、飯田町スカイファーム、鬼無盆栽）
2/20（木）	市長、若手職員との意見交換会 ふるさと納税PR提案まとめ



学生の感想

- ・市長の前やそれだけでなく、様々な人の前で話す機会が多かったため、自分の意見を言うことに関しては成長できたと思う。
- ・他大学の学生とのコミュニケーションを積極的にとることができた。

(公社)セカンドハンド、(公財)オイスカ、JICA四国

紹介

- ・セカンドハンドはチャリティーショップを運営し、主にカンボジアの教育支援や医療支援などを行う国際協力団体
- ・オイスカは農業や食品加工指導による人材育成を行う国際協力団体
- ・三者合同で香川における国際協力の仕事体験を実施

実習スケジュール

2/17 (月)	JICA四国の国際協力の講話 チャリティーショップでの国際協力体験
2/18 (火)	チャリティーショップでの国際協力体験
2/19 (水)	農業を通じた国際協力体験 海外実習生との交流
2/20 (木)	調理体験、リーダーシップ研修



学生の感想

- ・地方での国際協力という一見矛盾するようなテーマだったが、今回の仕事体験でしっかり結びついた。
- ・覚悟をもって夢に向かって頑張る人々を見て自分自身も主体的に動くことができた。特に外国人とコミュニケーションをとる際、今まで以上に頑張れた。

ホテルクレメント高松

紹介

- ・ 四国最大規模のシティホテル。
- ・ シティホテルでの仕事体験を通して、地域課題およびホテルの地域貢献を学ぶ。

実習スケジュール

2/17（月）	研修に参加 ・ 英会話講習、救命救急講習
2/18（火）	研修に参加 ・ 介助サポート、クレーム対応研修
2/19（水）	館内視察 市内観光地視察
2/20（木）	企画会議参加 ベッドメイキング、フロントワーク体験



学生の感想

- ・ 研修先がホテルということもあり、人に対する細やかな心配りの方法を学ぶことが出来た。
- ・ 社員同士のチームワークによって運営が成り立っている様子を研修中に何度も目にし、個人での単独行動だけでなくチームで1つのコトを進行する大切さも理解した。
- ・ グループのメンバーや会社の社員の方々と多く触れ、コミュニケーション能力や発想力などが磨かれたように思う。

JR 四 国

紹介

- ・ ツアー開発および駅周辺の開発についての仕事を体験し、地域課題とその解決について学ぶ。

実習スケジュール

2/17 (月)	JR四国の現状と課題のインプットトーク 大学連携事業中間報告会に参加
2/18 (火)	香大生が企画した男木島ツアーに同行
2/19 (水)	高知県への資源調査 ・ 気動車、ワンマン列車の現状 ・ 高知県でのホテル開発視察
2/20 (木)	四国家のお宝シリーズ添乗同行



学生の感想

- ・ 自分が生まれ育った場所なので現状を知りたいと思う気持ちが強く、地域の少子高齢化問題、交通面でのアクセス問題など、真剣に考えることができたという面で非常に勉強になったと思います。
- ・ 論理的に自分の考えを述べる力がついたと思います。

香川大学

紹介

- 「香川大学の広報を考える」をテーマに広報誌の編集、SNS投稿、副学長のカバン持ちを体験し、大学の課題と地域理解を学ぶ。

実習スケジュール

2/17（月）	広報業務のインプットトーク SNS用撮影、投稿
2/18（火）	広報アイデアミーティング 大学紹介動画撮影
2/19（水）	大学紹介動画撮影
2/20（木）	副学長カバン持ち体験



学生の感想

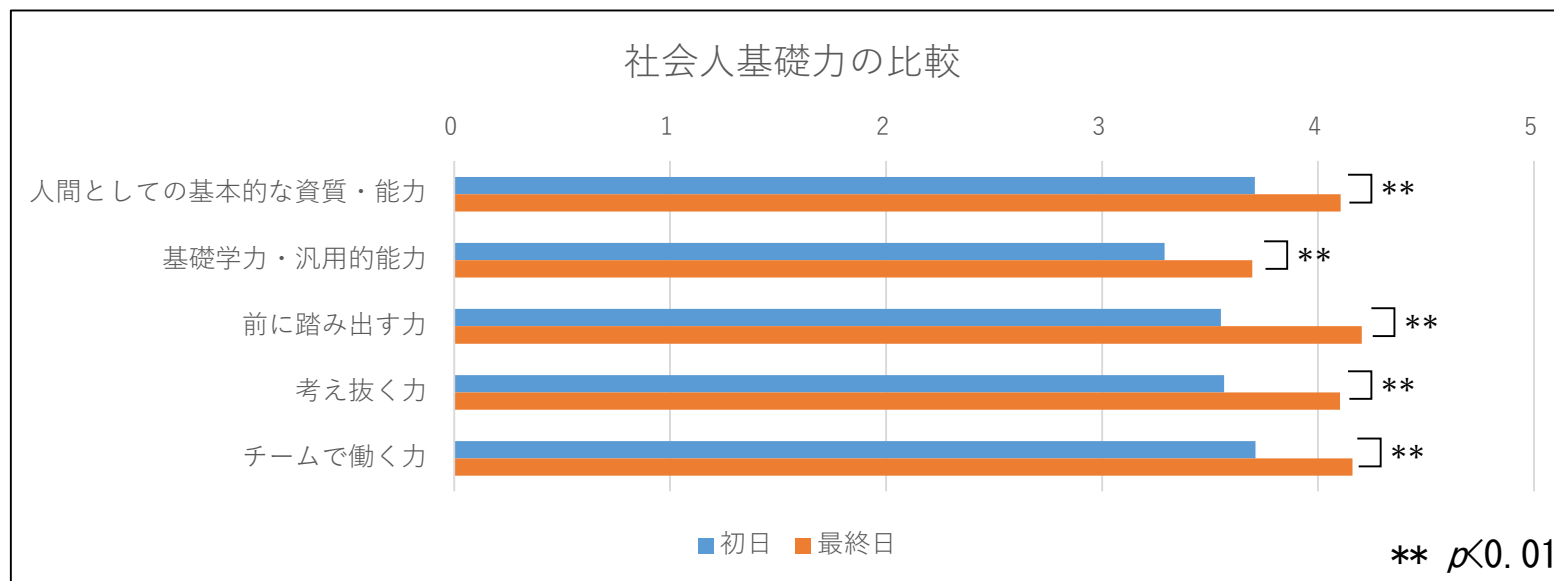
- 自分がつくったものが実際に使用されることの嬉しさや大変さを学び、今後こういった活動をしていく上でのモチベーションを高く持っていけるようになった。
- 今までは名刺の交換マナーなど知らなかったが、今回のプログラムを通して社会のマナーを身に付けることができたと思う。
- 日常生活では体験することができないような場所、人との出会い、仕事を経験して、視野や考え方が広がりました。



学生へのアンケート結果

初日と最終日にアンケートを実施。初日と最終日とで比較。

■「社会人基礎力」アンケート

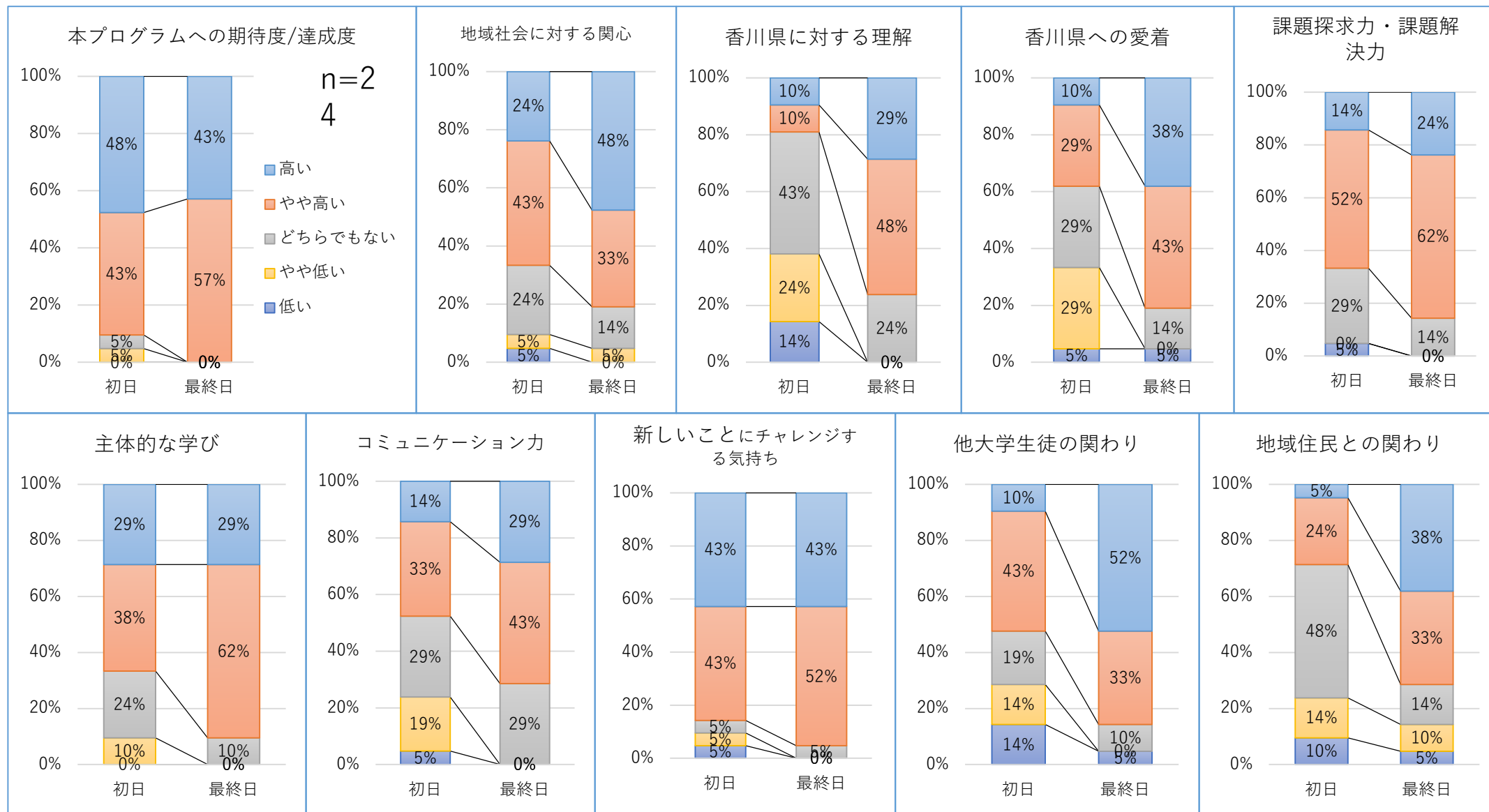


■香川県での就職、移住についてのアンケート結果 (n=35)

	はい	どちらでもない	いいえ
将来香川で就職してみようと思いましたが？	20名 (東京13, 香川大7)	1名 (東京1)	14名 (東京12, 香川大2)
将来香川に移住・居住してみようと思いましたが？	20名 (東京14, 香川大6)	—	15名 (東京12, 香川大3)



■「短期プログラム」アンケート





インターン先企業・自治体からのコメント

- 3名の学生さんは、短い時間ながら10品の試作品を作ってくれ、試食も行なうことができました。若い人ならではの発想で考えてくれたものもあり、弊社の開発メンバーも刺激になったと思っております。
- インターンシップしていただいた学生3名は、とても素晴らしい発表スライドでした。
- 実質2日間ほどで、これほどまでに考えられたのかと思うと、即戦力として職員に欲しいぐらいです。
- 正味2日間の調査でしたが、レビューの内容の質の高さに担当ともに驚いております。とても優秀な学生さんと協働することができました。